

かしま SPOT NAVI 掲載作文 大野柔道スポーツ少年団

平成 30 年度も楽しい活動がいっぱいでした。少し前に 30 周年を迎えたと思ったら 33 年になってしまいました。大野柔スポの今年の活動 を皆さんから紹介して頂きます。代表 諏訪 敏紘

最後の一年を楽しむために 大野柔スポ 五年 濱田 湊斗

昨年の行事で一番心に残ったのは、白浜少年自然の家に宿泊したことです。なぜかと言うと、昨年の大洗キャンプよりも、キャンプファイヤーやカレー作りなど、体験した事の無いものを少年団のみんなで行ったからです。それと、いくつかのグループに分けて、いろいろな行事の得点競って最後に順位を決めたことが、よりチームの中が深まったと思います。今年、ぼくが頑張りたいことは、2 月にある鹿嶋市少年団対抗の駅伝 大会です。昨年は 3 位で終わってしまったので、なるべく相手を引き離して、一位でタスキを渡したいです。それと、ぼくは麻生杯で 3 位になれたけどあまり試合で勝てないので、今年は、練習を一生けんめいやって昨年よりも勝ちを増やしたいです。

今年の思い出と来年の抱負 大野柔スポ 五年 宮本 晃希

ぼくには、今年の思い出と柔道での抱負があります。まず思い出は、大野柔スポに入って初めての鹿嶋市柔道大会でメダルを取れたことです。しかし、他の大会ではあまりメダルが取れなかったので、来年はもっと練習を頑張つて得意な体落としを試合で使って、金メダルをとれるようにしたいです。ぼくは、来年は、体落としで一本をとって金メダルをとる、ということ を目標にして、今年よりたくさんメダルをとって、良い結果を残せるようにしたいです。また、試合の相手に応じていろいろな技が使えるように、苦手な技でも試合で使えるようにしていきたいです。

晃希君は 4 月入団からこれまで皆勤を継続中です。



来年へむけて 大野柔スポ 五年 坂田 真美

私は五年生になって楽しかった事、うれしかったこと、そして柔道での思い出がたくさんあります。一つ目は、柔道のキャンプです。私は副班長として、班長と協力して、みんなをまとめたり、協力して活動しました。そのキャンプの中でも特にスタッツが心に残りました。自分達で何をやり、だれがどの役をやるかなどを決め「うさぎとカメ」の劇をやりました。そのスタッツで1位になれてうれしかったです。二つ目は、大野杯の開会式で「講道館の投の形」をおこないました。6年生がけがのため急きょ代役でしたが、取の6年生と協力して本番でも失敗しないで出来たので、やって良かったと思いました。また、来年は6年生になるので1回でもいいので優勝したいです。そして、柔道のみならず、仲良く楽しく元気に練習をしていきたいです。

今年の思い出・来年の抱負 大野柔スポ 五年 藤本 翔

ぼくの思い出は、夏にキャンプをしたことです。なぜかと言うと夜に「きもだめし」をしたこと、キャンプファイヤーをしたり、グループのみんなで考えた劇を発表したこと、グループに分かれてカレーを作ったこと、みんなで入ったお風呂が特に楽しかったです。本年度の抱負は、6年生になり上級生として、下の学年、下の子達をまとめて練習にはげみ、一人一人が目標を決めてそれを目指し練習など頑張っていきたいです。ぼくは、もっともっと試合に勝ちたいからとくい技を練習して、気持ちで負けないように心身ともに強くなるようにしたいです。



平成三十年を振り返って 大野柔スポ 育成会長 宇都宮幸治

『黙想先生に礼』から始まる定期練習は、大野中学校武道場で週三回行っています。一月の新年最初の団行事「鏡開式」では、団員全員による形の演武をお父さん、お母さん方へ披露して大変好評でした。七月には九年間実施していなかった、二泊三日の白浜自然少年の家でのキャンプ合宿を行い、暑い中団員達も楽しそうに過ごしていました。又、麻生杯柔道大会では女子の部で、二年連続六回目の総合優勝が果たせたのも、日頃の練習のたまものだと思います。少子化の影響か、柔道人気のかげりなのか入団者が少なかったが、今年度は十人の新入団があり、団員減少に歯止めがかかった事は喜ばしいことでした。これからも、育成会長として団員の増加は元より、青少年の健全育成に大野柔道スポーツ少年団の活動に微力ではありますが尽くして参りたいと思います。



麻生杯女子の部2年連続 総合優勝
2年連続 6回目達成



第27回大野柔スポ杯 平成4年開催
兼 北浦大橋開通記念友好柔道大会